施設園芸　環境制御システム等の導入による省力化及び収量増　【99】

経営体の概要

○ 所 在 地 ： 長崎県雲仙市
○ 経営体名 ：立石バラ園
○ 栽培作物 ： バラ（70ａ）
○ 従業員数（令和６年３月現在） ：
○ 家族3人、常勤1人、実習生(ﾍﾞﾄﾅﾑ)２人

導入技術

○ 統合環境制御盤　(株)ニッポー：ハウスナビアドバンス

○ 炭酸ガス局所施用　フルタ電気(株)

○ 自動換気　フルタ電気(株)

環境制御システムを導入したハウス内

導入経緯

○ 様々なデータを見える化し、ハウス内の環境、とりわけ温度及び炭酸ガス濃度を適切に管理するため、「次世代施設園芸拡大支援事業」を活用し、ハウスナビアドバンスを含めた環境制御装置を導入。

取組の特徴・効果

○ 導入効果は非常に大きく具体的な結果もあらわれている。例えば収穫本数が増加（概ね3%増）し、Ｌ以上の上位階級率も増加（概ね７%増）。

○ ハウス内環境を自動で制御できるので、導入前と比べ換気等に係る労力が減少。

○ 温度、湿度といった基本情報に加え、飽差などを確認しながら、湿度管理、潅水管理などを変更するなど応用している。

○ 収量増加を目指し、アーチング栽培＋切り上げ仕立てという、新たな取り組み試験も実施したが、結果、思ったほど増収にならなかったため、現在は、従来の仕立て（アーチング栽培）にて、安定した出荷を続けている。